



学校だより

5月号

横浜市立六つ川台小学校

平成29年4月28日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

子どものよさを知る

校長 滝本 俊一

木々の緑が日増しに濃くなり、爽やかな季節となりました。子どもたちの元気な声が、毎日響き渡っています。

六つ川台小学校に着任して一か月が経ちます。その間、六つ川台小の子どもたちの素晴らしい姿をたくさん見ることができました。まず、あいさつがしっかりとできる子どもがたくさんいます。朝、子どもたちと交わすあいさつは、私たち教職員の大事なエネルギー源です。また、六つ川台小の子どもたちは、話の聴き方が上手です。朝会などでは、話を聞く人の方をしっかりと見て、静かに聞くことができます。静かに聞くだけでなく、時々話にうなずきながら聞く子どももいて、話をしている私も「あっ、聞いてくれているな」と実感することができます。先日の朝会では、はじめに気をつけの姿勢の確認をしました。「かかとをつけて、つま先はげんこつ一つ分けます」と説明したら、子どもたちが一斉に前屈みになり自分のげんこつをつま先にあてて確かめ始めました。その姿がとても微笑ましく、また、子どもたちの反応のよさに感心しました。1年生が初めて参加する朝会の時、初めてと言うこともあり他の学年より体育館に来るのが遅くなりました。そんなときでも、2年生から6年生の子どもたちは静かに1年生を待つことができました。先日、6年生と都筑区にある横浜歴史博物館に行きました。初めての校外学習の引率です。それまでの子どもたちの落ち着いた様子から、子どもたちが校外に出てどんな行動をするのか楽しみでした。資料を見てメモをとる姿、ガイドさんの説明を聞く態度、グループ行動等々、感心することが多かったです。当日は、市内の小学校が本校を含めて10校の6年生が見学にきていました。その10校の6年生の中で、六つ川台小学校の6年生の態度が一番よかったと自信をもって言えます。六つ川台小の子どもたちのことが、ますます好きになった校外学習でした。

このように、六つ川台小学校の子どもたちのよさを実感することが多かった一か月でしたが、私たちは子どもたち一人一人の個性をしっかりと見ていかなければならないと思っています。

「血液型が違うように、人はそれぞれ、速さの違う時計を持っているような気がする。」これは、星野富弘さんが詩画集の中で書かれた文です。子どもたちも一人一人の時計の速さは違うのではないのでしょうか。飲み込みがはやく何でも器用にこなす子ども、一つ一つじっくりと取り組む子ども、一人として同じ子どもはいません。

私たちは、子どもの時計の速さを知り、それに合った支援・指導をしていくことが大切だと考えます。人と比べるのではなく、その子の個性を認め、伸ばしていく、そんな教育を保護者の皆様、地域の皆様と共に実現していきたいと思っています。

今月末には運動会があります。子どもたち一人一人がそれぞれのよさを発揮できる場にしたいと考えています。そんな子どもたちのがんばる姿をご覧いただけたら幸いです。今月もよろしくお願ひします。